

# 田中まどかの市議会通信 vol.25

発行責任者：日高市議会議員 田中まどか（会派 みんなの会）2022. 4. 6 発行



## 国のデジタル化事業に疑問 国保税の増額反対

3月議会では、市長から10件の予算案、12件の条例改廃、3件の人事案件など、29の議案が提出されました。私は、そのうち3つの予算案と1つの条例改正に反対しました。

反対討論では、おもに国のデジタル化政策の必要性、優先性、費用対効果への疑問、多額の一般財源(市のお金)を使わなければならないこと、また、国が1兆8,000億円もの巨費をマイナポイント事業に投じていることへの抗議を表明しました。今は自治体のICT化、DX化の過渡期であると認識していますが、各自治体の事情を無視した国の進め方、市の財源への悪影響は見過ごせません。

国民健康保険税の増額については、被保険者の負担が重すぎることで、制度維持への不安、国の財政支援が必要なことを訴えました。

国や県のやることに市議会が反対しても意味がない、というご意見もあるようですが、地方議会がNOを言わずしてどこが言うのでしょうか。賛成するにしても、せめて意見書を出して国や県に注文をつけるくらいのことはずべきだと思います。地方議会が唯々諾々と従っているのは国政も県政もよくなりません。

令和4年度一般会計予算  
令和4年度補正予算(1)  
国民健康保険料条例改正  
への反対討論はこちらから  
お読みいただけます。



田中まどかの一般質問の  
動画はこちらから視聴で  
きます。



### 一般質問 女性職員の活躍を

日高市では、女性活躍推進法に則り、「女性職員の活躍を推進するためのプラン」を策定しています。目標値は、令和8年度までに「女性管理職を課長級以上で10%以上に、主幹級以上で14%以上にする」「主査級以上の女性職員を28%以上にする」というものです。

人数で言えば数名増やせば目標達成となりますが、目標値が低いのでは？

女性は、出産・育児、家庭との両立などで悩むことも多いですが、能力では男性職員と変わらないはず。さらに職場環境を改善して、キャリアの継続と能力を活かす対策をとってほしいと思います。

市が本気で女性活躍を推進するならば、何らかの**ポジティブ・アクション**(女性の少ない部署に一定の人数を割り当てる、能力が同じなら女性を優先して登用など)をすべきではと質問しましたが、「男女の差なく配属する」との答弁でした。

4月の人事異動では、女性部長の定年退職もあり、課長級以上の女性は2人のみになり、新たな登用はありませんでした。大変残念です。

### 一般質問 これからの公民館のあり方について

公共施設の利用については「受益者負担の適正化」が言われていますが、利用していない人の利用を促すことで公平性を確保することも重要ではないかという観点から質問をしました。

Q. 公民館の利用率は。

A. コロナ禍前の平成30年は、最も高い高萩北公民館で57.7%、最も低い高麗公民館で34.4%。他自治体も概ね20~50%の範囲内。

Q. 登録サークルの利用割合は。 A. 84.1%。

Q. 利用者の固定化がこの数字に表れているが、多様な利用者を増やす方策は。

A. 次世代を担う若者から高齢者まで幅広い年代の方に参加できる企画を心掛ける。例として「ふるさと歴史ウォーキング」など、学びと健康を組み合わせる企画など。

リモート会議やオンライン講座ができる環境を整える。空室情報などをネットで確認できる仕組みも研究する。

また、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育において、「地域学校協働本部」の設置を進めており、公民館を拠点として、子どもたちの学びと活動を支える活動をしていく。

Q. 子どもたちの活動を支えるには、要となる公民館職員の企画立案力、調整力、コミュニケーション能力などを高める必要があるが。

A. 国や県の専門研修を積極的に受講している。公民館職員として重要なことは「その地域をよく知る」ことなので、利用者や地域の声を聞き、ニーズを把握し、課題解決に向けた運営を行える職員の育成を図っていく。

♡心から期待しています!!♡



☆知って、考えたい 子どもの未来☆

子どもを学  
校に通わせ

## こんなにかかっている！？教育費の保護者負担

基本的  
に、個人が

るには、保護者は様々なものを購入しなければなりません。授業で使う〇〇セット、〇〇キット、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、ドリルや夏休みワーク。体操着、給食着、水着など学校指定のもの。ランドセルや通学バックなど通学用品。修学旅行の積み立てや生徒会費、PTA会費なども納めなければなりません。

日本国憲法第26条では「義務教育は、これを無償とする」としていますが、程遠い現状です。

日高市の保護者が1年間に学校に納めている平均額を学校教育課に調査してもらい、表にしました。

	学年	平均額（円）/年	
小学校	1～2	約18,000	
	3～4	約19,000	
	5～6	約33,000	
中学校	1	女子	約168,000
		男子	約152,000
	2	約68,000	
	3	約25,000	

制服が  
高  
すぎます！

(給食費は除いています)

中学生はこの他に部活の費用がかかります。兄弟姉妹がいればこの数倍負担していることになります。

使用したり持ち帰ったりするものは私費(保護者)負担ですが、学校教育に必要なものなので、本来は公費負担でいいはずですが。

市から各学校への配当金は1校につき約150万～250万円しかなく、教材消耗品に使えるお金は、小学生一人当たり約3,100円、中学生一人当たり約6,600円で、公費と私費の差がありすぎます。文科省は教材整備の財源として単年度800億円の交付金措置をしているので、市は、学校配当金の予算を上げるべきです。

教育委員会は、教材の必要性を見直したり、制服リサイクルなどを進めて保護者の負担を軽減したいと言っていますが、自治体がランドセルに補助金を出したり、ユニクロの既製品を制服にしている学校もあります。前例にとらわれない取り組みや、教材の共有・共用・貸出などを進めるべきです。

詳しくは  
こちらから



学費にお困りの方は、就学援助制度が利用できます。

## 子宮頸がんワクチンを打つ前に！

小学6年生から高校1年生の女子を対象にしたHPVワクチン(子宮頸がんワクチン)接種のお知らせが市から届きます。接種は義務ではありません。同封の情報をよく読み、効果とリスクを考慮して、打つかどうかお子さんと話し合ってください。

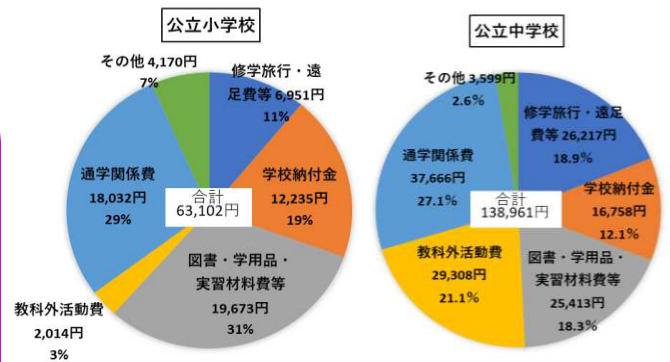
◆子宮頸がんワクチン学習会

5月28日(土) 13:30～15:30

高麗の郷生涯学習室

講師：隈本邦彦氏(江戸川大学教授)

「HPVワクチンのほんとうのこと」パンフレット



保護者が支出した1年間・子供一人当たりの学校教育費(文部科学省平成30年度子供の学習費調査より)

この調査では、学校で使う教材だけでなく、ランドセルや通学用の傘、本、ノート、文房具なども含まれていません。額の大きさに驚きますね。

連絡先：〒350-1255 日高市武蔵台 1-29-2

ブログ：<http://madokatanaka.livedoor.blog/>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/madoka.tanaka.140>

メールアドレス：madoromi29@hanno.jp

お気軽にご連絡、ご意見、ご相談ください。

TEL 090-9003-7344

FAX 042-982-0599

ブログ



フェイスブック

